

2014年度

第17回 ペット法学会・学術集会シンポジウム

テーマ：「飼い主責任のあり方」

日時： 2 0 1 4 年 11月22日 (土)

午前10時30分から午後5時頃まで（午前10時20分開場予定）

場所：金沢工業大学 東京虎ノ門キャンパス 13階 1301 会議室

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル （別紙地図参照）

〔プログラム〕

○開会の辞（午前10時30分） ペット法学会理事長 棚橋 祐治

○午前の部 研究報告（午前10時35分より）

研究報告

本シンポジウムの意義	シンポジウムコーディネーター	弁護士	吉田 眞澄
1 飼い主責任の現状と課題		弁護士	渋谷 寛
2 ペットに対する飼い主責任	国立科学博物館館長		林 良博
（終生飼養義務に関連して安楽死を含め死の問題を含む）			
3 社会に対する飼い主責任		弁護士	細川 敦史
4 犬の飼養規制（比較法）	明治大学法科大学院教授		椿 久美子

— 昼食休憩（12時30分頃より）—

午後12時40分より役員会（役員のみ）

午後1時30分よりペット法学会総会（会員のみ）

○午後の部 研究報告とパネルディスカッション（午後2時00分より）

研究報告

- 5 飼い主責任と社会の対応 旭化成ホームズくらしノベーション研究所
（ペットの死に対する社会の対応策を含む）
- 6 飼い主責任のあり方 弁護士 吉田 眞澄
- 7 15分の休憩をはさみ15：15から報告者によるパネルディスカッション
パネルディスカッションのテーマ（議論の流れにより変更の可能性あり）
 - （1）狂犬病予防法上の犬の飼い主義務の位置付けとマイクロチップ
 - （2）犬・猫の飼養者把握促進とペットの住民登録（戸籍）
 - （3）犬・猫の不妊・去勢手術推進と所有権
 - （4）飼い主責任強化と飼い主支援
 - （5）ゆりかごから墓場まで一飼い主責任の多様性
 - （6）飼い主責任とペットに開かれた社会
 - （7）飼い主責任とペット大国

○閉会の辞（午後5時頃終了予定）

○懇親会

学術集会終了後、会場近くにて懇親会を予定しています（懇親会費各2,000円）

お問合せ先 ペット法学会事務局事務局次長 渋谷 寛

（渋谷総合法律事務所内 電話 03-3354-2291 FAX 03-3226-1870）

※プログラムは変更になる可能性があります。